

第6回 子吉川圏域流域治水協議会 概要

- 日時：令和4年3月1日（火）13:30～15:00
- 場所：WEB会議
- 議事
 - (1) 子吉川水系流域治水プロジェクトの更新（案）
 - (2) 令和3年度の取り組み状況
 - (3) 情報提供（東北地方整備局、東北農政局）
 - (4) 流域治水プロジェクト更新に向けた進め方（案）
 - (5) 意見交換



▲協議会開催状況（WEB会議）



▲由利本荘市長発言

■議事概要

◎ 議事について了承

【主な意見・コメント】

- ◎水害に強いまちづくりにおいて、道路や都市下水のインフラ整備に加えて、民間の宅地造成など、浸水想定を考慮した官民連携による新たな町づくりが進行中である。
ソフト対策では、想定最大規模に基づくハザードマップ周知について、出前講座を実施し、市民の防災意識啓発に努めていきたいと考えている。（由利本荘市）
- ◎農水省として地域に活用して頂けるような制度を幅広く考えていきたい。
（西奥羽土地改良調査管理事務所）
- ◎国有林の整備、民有林支援の事業を、関係機関と情報交換しながら事業を進めていきたい。
（由利森林管理署）
- ◎分収造林方式で実施している民有林の森林整備、除伐、間伐等を引き続き継続的に進めていきたい。（森林整備センター 秋田水源林整備事務所）
- ◎気象台では、段階的に防災気象情報を発表・提供し、特に大雨が予想される場合は、記者会見を開き説明するなど、皆様のお役に立つ情報を提供していきたい。（秋田地方気象台）
- ◎鳥海ダムは転流工のトンネルが貫通した。今後、雪が溶ける頃には、新たにダム建設地点の上部の掘削に着手する。来年度は、工事の進捗が確認いただける。（鳥海ダム工事事務所）
- ◎国直轄区間の河道掘削を進めるとともに、グリーンインフラの取り組みも実施する。事業効果の見える化の「水害リスクマップ」について、直轄事業のみだけでなく、県管理区間や、内水氾濫なども取りこみ、使いやすいリスクマップにしていきたい。ソフト対策として、自然災害伝承碑を活用した、防災学習・出前講座など、進めていきたい。（秋田河川国道事務所）

■出席者

由利本荘市長
にかほ市長 （代理：防災課長）
東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長
東北森林管理局 由利森林管理署長
国土研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター 東北北海道整備局長 （代理：秋田水源林整備事務所長）
秋田地方気象台長
秋田県 総務部 危機管理監 （代理：総合防災課 政策監）
秋田県 農林水産部長 （代理：農地整備課 主幹（兼）班長）
秋田県 建設部長 （代理：河川砂防課主査）
東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所長
東北地方整備局 秋田河川国道事務所長